

TTC 事務局員の紹介

担当部長（企画戦略担当） **吉野 絵美**

2021年7月よりTTC事務局として企画戦略を担当しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

企画戦略担当は、TTCの標準化活動を戦略的に進めるための、事業計画、企画、広報、体制検討、協調など、幅広い役割の業務を担います。新型コロナウイルス感染症の流行により、世界中が様々な形での変化を余儀なくされる今、この感染症の流行の下で、また、一定の収束後に、標準化活動がどのようにあるべきかを考えながら日々業務にあたっています。

今回、私には過大な紙幅をいただきましたので、まだ着任後日が浅く、十分な理解には至っておりませんが、これからの標準化活動に対しての私個人としての理解と、担当業務への意気込みを記載したいと思います。粗削りな点ご容赦いただき、ぜひ今後の活動の中で、みなさまよりご意見をいただければ幸いです。

まず、私自身のことを、簡単にお話しさせてください。私は、学生時代は数学を専攻し、世の役に立つ、立たないには一切の関心を寄せることなく、高度に抽象化された理論の世界に浸ることを楽しんでいました。知力に乏しくとも、ただただ興味の赴くままに学問を探究できる学生の特権を満喫した後は、通信会社の技術系社員として、サービスやシステムの開発を主として、業務経験を重ねてまいりました。

入社後は、概ね2年ほどで職場を異動することが常でしたので、色々な職場や技術、関係の方々とお会いする機会に恵まれた一方で、私自身は専門と呼べるものを持っておりません。

TTCでの業務を通じてお会いする方々は、産官学それぞれの場で、専門的に技術や知識、経験を積み重ねてきたばかりで、知を集めて最先端の議論がなされる場に関われる幸せを感じています。

私のこれまでの業務では、標準化との直接的な関わりは少なかったため、見当違いなことを申し上げるかもしれませんが、標準化を、対象技術に係る広いステークホルダーの利害を前提に、ルールを協創する手段の一つと捉えることが許されるなら、その役割の重要さは今後更に増していくと理解しています。

今、世の中のサービスの多くが、突出した一つの技術だけではなく、産業や技術分野を跨る形で実現され

ています。そして、自動運転や顔認証といった技術では、人権等の社会的な課題の理解無しにサービス化することは難しいでしょう。更には、すべての事業において気候変動等の社会の持続的な発展への配慮が不可欠です。

他方で、IoTやクラウド、各種プラットフォームサービス等によって、大きな資金無しに、個人や小規模なグループでも、アイデアをサービスの形にしやすくなっています。今までは技術、資金、利用者への信頼の面で特定の企業でのみ扱うことが可能だった事業にも様々なプレイヤーが参加するようになってきました。

このような状況において、複数視点での専門知識によって磨かれた「標準」が共有知となっていれば、様々な最新技術や斬新なアイデアが、よりスムーズに、より多くの人にとって快適な形でサービス化されるのではと期待しています。

おそらくこのときの「標準」はルールそのものの議論以前に、ステークホルダー間での利害の理解や交流、対話が重要になるケースが少なからずあるように感じています。

私のTTCでの担当業務の一つとして、この相互理解の機会や、異なる分野同士の交流の場をつくりだすことで、標準化活動と研究活動、事業活動がうまくかみ合って、より良い社会へとつなげていくことができると考えています。

至らない点、多々あることと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



趣味で続けている茶道のお稽古場にて。また気軽にお茶が楽しめることを心待ちにしています。